

推敲あれこれ

影山一男×高野公彦

③



は疲れて赤子のごとし

(改作)

影山 これは歌の意味は分かりますが、「ベッドへ行く」と言うべきところを、「ベッドへ」だけで済ませています。通俗的な省略表現ですね。「ベッド」を受ける言葉、つまり述語が必要なので「横たはる」を補いました。

高野 日常会話では、例えば「タクシーで空港へ」だけでもOKでしょうが、短歌では「タクシーで空港へ向かった」という必要がありますね。「向かった」という述語を省略してはいけません。述語を省略する言い方は、通俗的な言葉づかいの代表的なものです。

マンションの日のさす部屋に一人ゐて
残りの生をあこれ思ふ (原作)

マンションの日のさす部屋に一人ゐて
残りの生の豊かさを恋ふ (改作)

影山 これは「あれこれ思ふ」のところが漠然としているので、一案として「豊かさを恋ふ」としてみました。豊かであってほしい、ということですね。

高野 作者は将来を考えて心細い状態だ

◆常套句は使わない

高野 こんにちは。欠点のある歌をどう直すか、具体的に話をしていただきたいと思えます。実例を用意してもらいました。その直し方を見て、自分の歌を推敲する時の参考にしてもらおう、というのがこの対談の趣旨です。

一点の曇りなき空仰ぐとき君への想ひ
極まりてをり (原作)

雲ひとつ浮かびたる空仰ぐとき君への
想ひ極まりてをり (改作)

影山 これはおそらく恋愛の歌でしょうが、「一点の曇りなき空」が常套句で、よくないですね。そこを「雲ひとつ浮か

びたる空」と変えました。

高野 一点の曇りもないと言うよりも、雲が少し浮かんでいるほうがリアリティがありますね。政治家が「全身全霊」とか、よく常套句を使いますが、大げさでどうも信用できない。(笑)。

影山 結婚式とか儀式の挨拶、あるいは手紙の書き出しなんかは常套句をいくらか使ってもいいんですが、オリジナルの歌を作るとき、すぐ常套句が浮かんでくる人は、要注意ですね。

高野 たとえ浮かんで来ても、推敲の段階でその決まり文句を捨てるのが大事ですね。次は省略の問題です。

着替へせぬままにベッドへ疲れたる娘
は今宵も赤子のごとし (原作)

着替へせぬままにベッドに横たはる娘

ったのかもしれない。ならば「残りの生の寂しさ思ふ」とすればいいんだけど、それでは平凡な歌になってしまう。ということ、思い切って「豊かさを恋ふ」としたわけですね。そう変えても「寂しさ」は漂っている。

影山 むろんコスモスの詠草を選歌する場合は、「あれこれ思ふ」を「豊かさを恋ふ」と直したりませんが、カルチャーの教室なんかでは、結句を「豊かさを恋ふ」と直したらどうですか、と作者に助言します。

高野 なるほど、添削は他人の歌を直すこと、推敲は自分の歌を直すことですが、それを踏まえて言えば「添削は控え目に、推敲は存分に」ですね。それでは、次は僕が用意した例です。

◆ルビの乱用をやめる

青空そらに映える蠟梅はな眺めつつ音楽に合せて体操そらけさも爽快
(原作)
空に映える蠟梅見つつ音楽に合わせてけさも体操をする
(改作)

高野 字余りになるのを避けるためにル

ビでごまかす、という安易な方法が近ごろ多いですね。ルビでごまかした歌は、安っぽくて品格がない。この改作は、ルビを使わないという直し方です。

影山 例えば「亡母」と書いて「はは」というルビを付けた歌を見かけますが、歌を読めば、母が亡くなっているということが分かる場合が多いですね。

高野 そうそう、「亡」の字が無くても亡き母だと分かるのに、馬鹿丁寧に「亡」の字を付ける人がいます。いちばんひどい例は「亡母の墓」(笑)。では次に挙げたのは、内容を単純化する、という例です。

真鯛釣りし友人を訪ひ写真見て八十センチの手応へを聞く
(原作)
友人の釣りし真鯛の写真見て八十センチの手応へを聞く
(改作)

これは「友人を訪ねて写真を見た」と言っていますが、その「訪ねた」の部分を省略して、内容を単純化しました。

影山 言う必要のない事柄をわざわざ歌に入れる作者がいますね。例えば「大阪の梅田の地下街で熱いお好み焼きを食べ

た」と言えばいいのに、「大阪の梅田の地下街で熱いお好み焼きを友人と食べた」と言ったりする。友人に配慮しているのかな？

高野 短歌に付度は要らない(笑)。では次に行きます。先ほど貴方が挙げた省略の問題で、僕も例歌を用意しました。

虐待で亡くなる子らの名前見て生まれし時は愛満ちしかと
(原作)
虐待で亡くなる子らの名前見て生まれし時の父母かほの愛思ふ
(改作)

結句は「愛満ちしかと思ふ」と言わなくてはいけないのに、述語の「思ふ」を省略しています。この省略はいけない。そこで下句を「生まれし時の父母の愛思ふ」としました。

影山 それできちんとした歌になりましたね。さっきも言いましたが、日常の会話では許容される省略表現も、短歌を作る場合は要注意ですね。

高野 ええ。本日はどうもありがとうございます。ではこの辺で。

影山 今のは「ではこの辺で終わりましたよ」の省略表現ですね(笑)。